

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4090800220		
法人名	株式会社エルエス		
事業所名	グループホーム香椎下原		
所在地	福岡市東区下原2丁目15番31号		
自己評価作成日	平成28年3月8日	評価結果確定日	平成28年4月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

今年の4月で5年目を迎えます。住宅街の中にありながら、広い敷地と四季折々の季節を感じられる自然環境に恵まれた施設です。隣接の小規模多機能、近接の住宅型との連携を取りながらそれぞれの生活スタイルにあったサービスができるように努めています。地域の方々の一員として地域の行事への参加や施設の行事へも参加して頂いています。これからも地域の一員として入居者様やご家族が安心していただけるように職員一同頑張っていきたいと思っています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/40/index.php?action_kouhyou_pref_search_keyword_search=true">http://www.kaijokensaku.jp/40/index.php?action_kouhyou_pref_search_keyword_search=true</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡県福岡市博多区元町1-6-16	TEL:092-589-5680	HP: <a href="http://www.r2s.co.jp">http://www.r2s.co.jp</a>
訪問調査日	平成28年3月15日		

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム香椎下原」は小規模多機能と併設型の2ユニットグループホームで、敷地に隣接する形で系列の住宅型有料老人ホームも運営されている。当事業所は4月で開設から5年目を迎え、地域内での認知度も徐々に高まり、毎年恒例の事業所の秋祭りへの参加者も増えており、ボランティア協力によるイベントも近隣施設合同で、ほぼ毎月何らかの出し物がなされている。系列施設と連携をとることで、利用者それぞれの状態に応じたサービスの提供がなされ、スタッフとも顔なじみになることでスムーズな移行が出来ている。近隣地域の開発も進み、住宅地としての賑わいが出てきて、近隣の方との交流も生まれてきている。日頃それぞれ出来ることをしてもらい、認知症状を進めないケアにつとめており、4年が経ち職員の定着も進み、家族との信頼関係も深まりつつある。今後地域の開発も進み、福祉の拠点としての存在感が期待される事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を事務所、玄関、リビングに掲示し、運営推進会議の入居者様の情報報告書の中にも理念を盛り込みご家族や地域の方々にもお知らせしている又毎日の申し送り時に唱和を行い意識の向上に努め実践できるようにしている。	法人理念とグループホーム独自の理念があり、掲示のほか、名札の裏面、パンフレットにも記載している。今までは4つの理念があったが、内容の近いものをまとめ、新たに地域交流に関して入れ込んだものを職員とも相談して作り上げた。気忙しい日々の中でも「ゆっくりとした時間の流れを～」の部分で大事にして、理念を振り返る姿勢を作っている。	昨年からはまった事業所全体のミーティングの中で、新しい理念についても取り上げる時間を増やし、理念共有が進んでいくことにも期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事(町内清掃、長谷ダム水がめ祭り等)への参加、事業所の行事の消防訓練や恒例の秋まつり等の参加の声かけを行い参加して頂いている。	入居者と一緒に回覧板を回し、毎年恒例の秋祭りはポスティングや回覧板でお知らせして、年々参加者も増えてきた。ボランティア交流も盛んで、併設の施設も合わせて月に1、2回は何らかの出し物にいられている。近隣の住民とも顔見知りになって、散歩のときなどに挨拶を交わしている。地域行事にも入居者と一緒に行くことで、地域の理解も進んできた。	近隣の公民館が整備されたのちに、場所を使ってキャラバンメイト活動や認知症に関する勉強会などが実現されていくことが期待される。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通し地域の代表(民生委員、町内会長の方々)に入居者情報報告時に認知症の方々の特性等をお知らせし質疑応答をし理解を得るように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに運営推進会議を行っている。小規模多機能と合同で行っていたが今年度より単独で行うことにより家族の参加が増えていく。行政、地域の方々、ご家族様の参加を通し行事報告、意見交換、情報交換等を行いサービスの向上に活かしている。	小規模多機能とは同日別時間で開催しており、町内会長のほか、組合長、民生委員の参加もあり、地域参加は多い。家族にも全員に案内し、多い時には5人程度が参加された。車いすの方の災害避難に関して意見があり、話し合いもされた。昨年初めて他事業所の運営推進会議にも参加して、取り組み方のヒントにもなった。議事録は欠席者も含めて郵送で報告しており、ボランティア来訪時に会議を行うことで日頃の様子も見てもらっている。	他所の事例も参考に、家族参加も増やしている。家族にも協力してもらった運営推進会議の在り方などを今後検討されていくことにも期待したい。出欠の際に希望開催日をきいて土日開催にしたり、行事との同日開催を検討されてはどうだろうか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険に関して分からないことなどは福岡市の担当者に相談をしたり空き情報等を包括に伝え紹介を頂いたりしている。	運営推進会議には毎回行政にも案内しているが、今のところ参加はなかった。市の介護保険課にもなにか質問や困りごとがある際にはすぐ連絡するようにしており、丁寧に教えてもらっている。最近では加算要件や拘束、医療行為の考え方に関する問い合わせを行った。生活保護の方の受け入れもあり、相談や報告もしている。空室報告やパンフレット、事業所のお便りも郵送や持参で報告につなげている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等において又日頃職員間でも意識づけを行っている。万が一離設された時を考えて「見守りネットワーク」の資料を取り寄せ当ホームに合ったものを検討している。	事業所の内部研修の中で、毎年1回は拘束に関する学習を行う。帰宅願望の強い方がおり、離設のヒヤリハットがあったが、それ以降は玄関施錠をするようにし、警察への登録や、見守りサービス利用も今後は検討している。四点柵などの拘束行為はなく、スピーチロックに関する理解を進めている。	

H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部・内部研修にて意識を高めると共に虐待が行われないように職員間で声掛けを行い見過ごされないように努めている。		
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されていた方がおられたため職員も身近に感じており研修等で必要性等を伝えている。	以前、入居後に成年後見制度を利用した方がいたが、今は退去されている。今後の入居予定者も外部の後見人を立てているため、活用を通して制度理解を進めており、年間計画の中でも権利擁護に関して内部研修で取り上げる。必要が見込まれる方には適宜管理者からの助言も行っている。	今後の対応に備えて、制度資料やパンフレットの準備がなされることが望まれる。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分な説明を行いホームとして出来津ことと出来ないことを説明して納得していただいている又改定等の時は文書化して直接説明を行い納得していただいている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席していただいたり面会時等の時に意見や要望をお聞きしたり利用者に関してはご家族からやご本人様からの意見や職員が感じ取ったりし、代表者に報告を行うようにしている。	身寄りのない方や関係が疎遠な方もいるが、それ以外の方は面会や電話連絡などで状況を伝えている。入居期間の長い方も増えてきて、家族との関係も徐々に深まってきた。4か月ごとに「香椎下原便り」を発行しており、行事報告などを行っている。	表面化してこない意見を引き出すような取り組みとして、家族担当を決めて職員との関係を深めてはどうだろうか。担当から個別の写真、お便り報告などを行ったり、家族との懇親会を企画したり、事業所として出来ることを検討して取り組むことにも期待したい。
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回代表者、職員全員出席で会議を開催しており代表者に対して質問や要望等を出して即決又はその場で解決できない時は管理者を通して職員に通告がある。	今まではユニット単位のミーティングだったが、昨年からは事業所全体で行うようにし、勉強会や、全体での情報共有が進むようになった。カンファレンスは同日の全体会議後ユニットに分かれて行っている。社長も全体会議に参加し、上がった意見などにも積極的に取り組んでいる。日頃から管理者以外にも社長が来ることも多く、相談などしやすい。個別面談の機会も定期的にもたれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者と職員の個人面談もあり代表者が頻りに訪問し職員と気軽に話せる環境作りにも努めている。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては性別、年齢等を理由に排除しておらず70歳を定年に行っていることから働けるまで、そして勤務希望は職員間で協力しながら融通を聞かせており外部研修等は積極的に参加が出来るような環境を作っている。	男性職員も数名おり、全体では50～60歳代の職員が中心に勤務している。最近ではあまり参加できなかったが、外部研修の案内や希望を出すことも出来る。休憩時間、休憩場所も確保されている。定年制度もあるが、希望があつて合意されれば、延長して働くことも出来る。職員も能力や特技を生かして、それぞれの得意な分野に役立てている。	



H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	全職員に研修の参加の他に日々の生活の中で認知症の理解と常に「人生の先輩である」と言うことを意識づけて関わる事が出来るように努めている。	昨年は人権に関する外部研修の参加はなかったが、内部研修によって権利擁護や法令純粋に關しての学習を行っている。管理者がケアマネの更新研修で人権学習を受けたが、内部伝達などはされていなかった。	公民館や行政などで開かれる人権学習や、人権啓発推進センターなどの関連団体を活用した資料貸し出し、講師派遣なども活用されてはどうか。事業所としての教育、啓発活動がなされていくことにも期待したい。
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修等を受ける機会の確保と内部研修にての発表を行うことで再確認い意味のある研修になるようなシステムを取っている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会・研修の参加、他GHの運営進進会議の参加等で他施設の見学や意見交換を行って同業者と交流をしサービスの質の向上が出来るように努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に際しての相談は家族や病院などから、ほとんどであるが入居前に面談を行い本人や家族の意見、要望を聞き本人が安心して生活が出来るような関係づくりに努めている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	認知症を抱える家族のほとんどは切実なものが多い為不安な事、要望等を傾聴し不安等が解消できるような関係づくりに努めている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に面談をして本人が何を望んでいるのか又本人と家族が今何が必要なのかを見極める支援をに努めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人に出来る事(モップ掛け、洗濯干しや洗濯物たたみ等)は職員と一緒に頂き暮らしを共にする関係を構築している。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	他科受診や外出などを無理のない範囲でお願いしたりして家族と一緒に入居者支えていける関係を築いている。		

H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの関係(デイケアや趣味活動)の継続や馴染みの方の訪問の受け入れを行い関係が途切れないような支援に心がけている。	以前から利用していたデイケアを継続利用する方や、習字を習っていた方が家族に支援してもらって習いに行くこともされている。付き合いのある民生員や近隣の知人の来訪もあり、居室でゆっくり過ごしてもらっている。一時帰宅や外泊をする方や、事業所の支援によって遠方の自宅に個別で送迎することもあった。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が孤立しないように職員が間に入り入居者同士が関わりが持てるように支援を行っている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も入院先に出向いたりその後の様子を家族から聞いたりし、関係を断ち切らないように努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からや職員から日頃の会話の中で本人の希望、意向を把握し本人本位に検討している。	入居時に独自様式のアセスメントを行い、ケアプランの見直し時に一緒に、半年ごとに取り直しもしている。主に管理者とケアマネが中心になってカンファレンス時に話し合い、全体の情報も共有しながら進める。意思疎通の難しい方は日頃のケアの中で表情の変化などを見ながら意向の把握に努めている。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に本人や家族から生活歴や暮らし方等の情報収集をしてこれまでの暮らしの把握に努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、心身状況を介護記録や連絡ノートに残し毎朝の申し送りやカンファの時に職員間での情報共有をし、現状の把握に努めている。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時はカンファや往診時に主治医からのアドバイス、本人や家族からの要望、意見等を反映し、現況に即した介護計画を作成している。	昨年からのユニット合同の全体会議に変えたことで、ユニット間の情報共有が進み、ケア改善にもつながってきた。プラン目標を元にした毎日のモニタリングチェック表があり、プラン内容の共有をすすめる、毎月のモニタリングにもつなげている。職員に看護師もいることで見直し時には参加、意見も出されている。	担当者会議の際に家族や医師からの意見照会ももらっているが、照会内容の記録も議事録に記載するか、もしくは情報を添付することで、より具体的なプラン変更を活かされてはどうか。また、担当者を定めているが役割を更に深めていき、家族との関係強化やスキルアップがなされていくことにも期待したい。

H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や連絡ノートに記入を行ったり申し送り時に意見等を出し職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	住宅型と小規模多機能が併設又隣接していることから情報交換は常に行っていることから柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館との交流、イベントのボランティアの受け入れ、入居者と地域を交えた消防訓練を行っている。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの入居者は提携医を希望されるが難病等のかかりつけ医や内科以外のかかりつけ医は今まで通りの医療が受けられるように支援している。	提携医は24時間対応もしているため、説明の上希望される方が多い。内科と精神科と提携することで、どちらか必要な病院に罹ることができる。他科受診は原則家族に支援してもらい、その際には情報提供書を書いてもらって家族と情報を共有している。看護師資格のある職員も3名おり、往診時の立会いなどを行っている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設の看護職は介護職との完全な役割分担はなく情報等の連携しやすい環境を作っている。訪問看護師等とも話しやすい関係を築いているので情報交換がスムーズに行っている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来るだけ協力医療機関に入院して頂くことで病院関係者との情報交換が出来、早期に退院できるように努めている。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに関しては入居時に家族等の意向を聞いており、重度化された時は家族に意向を確認行っている。今の所看取りの対象者はおられない。	看取り指針を定めており、入居時に事前確認書を書いてもらうが、重度化の際には改めて看取りに関しての同意書を取り交わすようにしている。希望されれば最期まで支援する考えだが、今までに看取った事例はなかった。医療対応が必要な際は提携医の訪問看護とも連携して対応するようにしている。看取りに関しての外部研修にも参加した。	

H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救急救命の講習を全職員が受けており内部研修としてAEDの使い方の訓練を行っている。		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	春と秋に年2回の消防訓練を実施しており春の訓練時は消防署立ち合いと地域の住民の方々の参加にての実施である。又備蓄物として飲料水、保存食等の準備もしている。	訓練は併設の小規模多機能と合同で行い、夜間想定を基本に取り組んでいる。春の訓練は町内会長を通して地域住民にも呼びかけ、手伝いもしてもらい訓練後にはぜんざいを振る舞っている。AEDの設置もあり、昨年より備蓄物の準備も始めた。2Fにも2か所出入口があり、避難もしやすい。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	外部研修や内部研修等で職員への意識づけを行い職員間でも声掛け行い、トイレ誘導時の声掛けや入浴時、排泄時の時は特に気をつけている。	接遇に関する研修は外部研修、内部研修でも行っている。トイレ時の声掛けや、排泄時の介助についてプライバシーにも配慮するように日頃から声掛けをして、徐々に改善している。相手に合わせた呼びかけ方をしながらも、敬意を忘れないように目上の人としての心がけている。写真の利用に関しても書面での同意を交わしている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の性格や認知症によりなかなか思いや希望の表出が困難な時もあるが出来る限り自己決定が出来るような支援を行っている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調やその日の気分等を考慮しながら一人一人のペースを大事にして希望にそって支援している。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容が毎月1回あり髭剃りや白髪染め等をされている又日々の服は職員と一緒に選んでいただいたり化粧をされる方は化粧品等の補充等の支援を行っている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	パン食を希望される方のために週1回はパンメニューにしたり、外食レクを計画する時は何が食べたいのか希望を聞いたりしている。食事の準備を一緒にして頂ける入居者様がおられないが下膳や後片付けが出来る方はいるのでお願いしている。	現在は業者からのメニュー、調理済み食材配食があり、ご飯と汁物を事業所で調理している。あまり調理を手伝ってもらう機会はなくなったが、下ごしらえや、皿洗いなど出来ることは手伝ってもらい、月1回はおやつレクなどをすることも有る。菜園の収穫物を提供したり、職員も希望すれば同じものが用意でき、一緒に食事している。食べたいものなどは聞き取って、外食時に要望を叶えている。	



H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量はチェック表で確認を行い水分に関しては不十分な場合の為に小計を出して対処している。主治医に相談を行いながらその方に合わせた量、食事形態で提供をしている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のその方に合わせた口腔ケアの他に定期的な訪問歯科により口腔ケアと磨き方の指導と治療が行えている。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人排泄パターンを排泄チェック表で掘み誘導や利用者の状態に合わせ夜間帯のみポータブルトイレを使用している。	ユニットごとに全員分の排泄チェック表があり、水分摂取、排泄状況、パット内排泄などの詳細を管理している。トイレ排泄を基本とし、夜間でもポータブルトイレなどを使用しながら、自立を促している。失敗や汚染が少なくなった方に対して、使用負担軽減の提案などは気づいた職員が、申し送りや管理者への相談で改善につなげている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のコップ1杯の水を飲んで頂いたり運動や腹部マッサージをして便秘にならないように心がけてはいるが薬に頼らないといけな入居者のおられる。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回入浴できるようになっている。入浴を拒まれる方には無理強いをせずに時間をずらして声掛けを行ったり、日にちをずらしたりして個々にそった支援をしている。	広めの浴室で、二方向を開いた位置に浴槽が配置され、手すりには色分けしたテープを巻くことで認識しやすくしている。基本的には週3、午前入浴だが、希望がある際は回数を増やしたり、午後の時間帯に変えることもあり、長時間入浴する方もいる。お湯は適宜ため流して清潔を保ち、柚湯など季節の行事浴を提供することもあった。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	決まった消灯時間はないが、音や照明を徐々に落としながら安眠できるように配慮を行い又昼間は自由に居室で休息できるように努めている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬表は回覧を行い全職員が目を通し捺印をしている。変更の際は連絡ノートに記入をし申し送り時に口頭で伝えている。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴や興味のある事を活かして家事の手伝い等をして頂いている又買い物や外出で気分転換が図れるように支援している。		



H28.3自己・外部評価表(GH香椎下原)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天気具合によって外出の予定日だけでなく出かけたり、「つくしとり」「潮干狩り」や山笠等時期や季節ごとに予定を立て実施している。	1Fのテラスと庭先にテーブルを置いて、気候のいい時は外でお茶などを楽しむこともある。月ごとの外出レクでバスハイクやドライブに行くが、計画以外でも日頃から少人数で外出したり、近隣の散歩や喫茶店に立ち寄りもしている。外出機会の少ない方を個別ケアで連れ出したり、車いすの方も同じように外出を楽しんでいる。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの入居者様は金銭の自己管理は難しいがお一人の入居者様は小遣い程度の金銭は自分で管理をしておられ、散髪代や自販機で好みの飲み物を買われたりしている。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自分から訴えはないが家族からの電話や親類等からの手紙等は取り次いだり読んで差し上げたりしている。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下の壁を利用して季節感が出るような壁面工作やリビングの窓は光の調節を行い、夏場は葦簀を使用したりして季節感を出している又童謡やクラシック等を耳障りにならない程度の音量で流し、心地よい時間を過ごしていただけるように工夫している。	床面は明るい茶色のフローリング調の床張りで、T字の中心にリビングがあり、左右に廊下が伸びている。玄関脇にもソファが置かれ、目の前の掲示板には利用者の目標が掲示されていた。トイレも3か所にあり、居室から近い位置のものを待たずに利用できる。カウンターキッチンからの見通しもよく、事務室もリビングに隣接することで様子も伺いやすい。風呂場などの掃除も行き届き清潔にされていた。利用者も一緒に工作し、内装のレイアウトや飾りつけも楽しんでいる。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを廊下に置くことで一人になれたり、気の合った者同士で過ごせたりできるように工夫をしている。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	貸し出しベッド以外の生活用品は利用者様の状態を見ながら危険のない範囲で使い慣れた物や好みの物を自宅からの持ち込みをお願いしている	家具調の介護ベッドが置かれ、各部屋に洗面台、扉付きの広めの押し入れも備え付けられており、ピンクのカーテンと花の壁紙でかわいらしい部屋を雰囲気づいている。周囲も開けており採光も良い。それぞれ使い慣れた家具を持ち込み、寛がれていた。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や共同部分には手すりを又居室のベッド横にはポールを設置し立ち上がりスムーズにできるようにし安全でできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。		